

夏の森林散策会

ワッカ原生花園

ひと味違う自然を堪能

7月3日、晴天のもと、ワッカ原生花園・ところ遺跡の森で夏の森林散策会を行いました。

コロナ禍ということで参加者を限定（バスの隣座席をあける）しての取り組みで参加者は26名（常呂川 FC3 名を含む）でした。



それぞれのガイドのもと、4班に分かれてハマナスやムシャリンドウ、エゾスカシユリ、エゾノカワラマツバなどの咲き誇る原生花園をおよそ2時間散策し、森林とはひと味違う自然（海浜植生等）を楽しみました。

また、クロバナハンショウヅル（環境省：絶滅危惧Ⅱ類）の群落も見ることができ、ワッカ原生花園の貴重さを認識することができました。



昼食後は、ところ遺跡の森に移動し、原生花園とは違う森林の植物を観察するとともに、復元した竪穴住居や数々の土器などを見学、太古のオホーツク人の生活に思いを馳せながら散策会を終了しました。

<小島>

夏の森林散策会

草花には名前が・・・

初参加の散策会でドキドキでしたが、ガイド、FC 職員、会の方たち、皆ユーモア満載で、とても親切丁寧に草花の名前を教えて下さり、普段何気なく見ている草花にも名前があることに気づかされました。

また、クロバナハンショウヅルは深い紫色で綺麗で可憐でした。

ところ遺跡の森では、縄文時代からの遺跡の修復した土器が蘇った姿に見とれ、とても 2400 年以上前に作られたとは思えない模様・形に感動し、歴史の深さに思いが馳せ、また来たいと思いました。

お天気にも恵まれ、森林浴も体験できて感謝です。ありがとうございました。
＜佐藤美智子＞



夏の森林散策会

歩いて感じる美

ハマナスの甘い香り、クロバナハンショウヅルの群落、懐かしいミズチドリ、ムシャリンドウ、ミヤコグサ・・・。



クロバナハンショウヅル

昨年の猛暑でワッカはダメになったと思っていましたが、無事に再生しており安心しました。

私は山野草が大好きで、もう何十年も花を探して歩いてきましたが、最近コロナのせいにして、出歩く機会も美しいものを見る感性も失っていました。

昔、友人が「自分の足で歩いて見つけた花が本当のものである」と言ったのを思い出しています。

暑さの中、案内していただいた皆様、ありがとうございました。

＜中田恵美子＞

自然に学び隊

多様な環境 & 多様な動植物

6月20日、夏の森林散策会の下見を兼ねて、13名（含む常呂川FC3名）の参加によりワッカ原生花園で自然に学び隊活動を行いました。



エゾスカシユリ

当日は、ワッカ原生花園に精通している佐藤義寛会員から「ワッカ原生花園は海浜砂丘、塩性湿地、海岸草原、砂丘という4つの異なる環境で成り立っており、環境により異なる植生、多様な植物が生育し、多くの野鳥が生息するエリアであり、環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されているクロバナハンショウヅルの群落があります」などの

レクチャーを受けてスタートしました。

クロバナハンショウヅルの群落を散策会の目的地とすること（1グループは海岸まで）とし、そのルート沿いの植物や季節により飛来する野鳥等の説明を受けながら片道およそ2kmを往復し、隊活動を終わりました。

なお、参加者は次の通りです。

【小島、小林、小山、吉田正、佐藤義、植村、渋谷、土門、小畑、吉田昭】
＜吉田昭＞

なるほどクイズ

（答えは会報のどこかに…）

自然界には多くの動植物が存在し、そのほとんどに名前がついています。（ごく稀に新種発見があります）



そこで、今回は名前に関する問題です。名前は、色・形・発見した場所などに由来するものが多いようですが、「シマリス、シマエナガ、シマウマ、シマフクロウ」いずれも名前にシマがつきますが、このうち体色に由来しないものはどれでしょう？

オホーツクの森 こども探検隊

自然を楽しむ

7月30日（土）、小学生12名（1～4年生）の参加により「オホーツクの森こども探検隊」（共催：常呂川FC）を行いました。（当初申込みは14名でしたが体調不良等により2名が辞退）



こども探検隊は、2017年以来の実施で、この間、北見市主催の環境ウォッチングへの振り替え、悪天候、そしてコロナと中止が続いたため、実に5年ぶりです。



12名を3班に分け、探検スタート。
プログラムは、「エリア内で人工物を探すカモフラージュ」「橋渡しじゃんけん」「ロープに触らずに進むクモの巣」「トランシーバー交信」「同じ物を見つけよう」「双眼鏡を使つての動物（絵）さがし」の6種類。

探検の合間には、会の手作り（第4回森いく活動）のハンモックやターザンロープ、川あそび・・・。

とても暑い日でしたが、夏休みの一日を元気いっぱいにおホーツクの森を楽しんでいました。



お弁当のあとは工作、万華鏡づくりです。思い思いに絵を描いたり、模様をつけて完成、夏休みの宿題もできて満足そうにおホーツクの森をあとにしました。

当日のお手伝いは、【吉田昭、小島、小山、植村、長谷川、小林、渋谷】です。

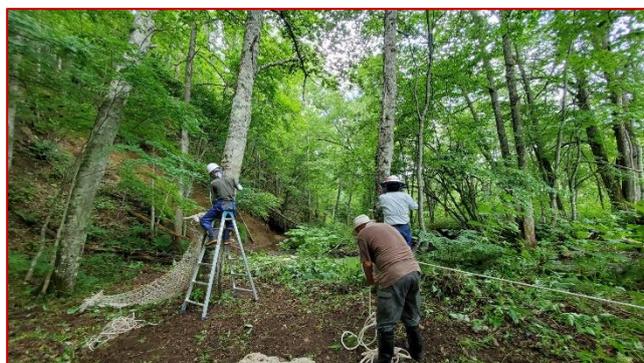
<渋谷>

第4回森いく活動

探検隊 受入れ準備 OK！

7月12日（火）、9名の参加により「第4回森いく活動」を行ないました。

今回は、こども探検隊受け入れのための準備として、メインの遊び場である川沿いの刈り払い、転んでもケガしないよう障害物・枯れ枝等の取り除き、そしてハンモックやターザンロープ等を設置しました。



なお、参加者は次の通りです。

【吉田昭、小山、小林、植村、長谷川、渡部、吉田正、渋谷、小島】
<小島>

第5回森いく活動

お土産もゲット！

「第5回森いく活動」は、8月9日（火）、6名の参加でふれあいの森協定に基づく活動（展望台周辺の整備）、古の森遊歩道の整備（草刈り）などを手分けして行いました。



クリンソウ遊歩道では、6月の「森いく活動」では「クリンソウや他の草花を避けて・・・」という状況でしたが、今回は、草花は結実完了！として気楽に刈り払いを進めることができました。

また、午後からは古の森遊歩道を散策、途中で時期外れと思われるほど早めのハタケシメジをゲット！お土産を手にもりました。

なお、参加者は次の通りです。

【吉田昭、小山、小林、吉田正、渋谷、小島】

<小島>

【なるほどクイズ】 答え



シマリス、シマエナガ、シマウマ、シマフクロウをそれぞれ漢字にすると縞栗鼠、島柄長、縞馬、島梟となり体色に関係ないのはシマエナガ、シマフクロウです。

シマフクロウの羽は縞模様でそこが由来のような気がしますが・・・シマフクロウは、長距離飛行が苦手なため津軽海峡を飛び越えることができず、蝦夷島に生息するフクロウということで命名されたようです。

1990年頃には35つがい程度まで激減して絶滅危惧種に、現在は巣箱設置活動などにより90つがい程度まで回復してきているものの生息地は知床・根室に集中しており、生息地拡大が課題となっています。



ちなみにアイヌ語ではコタンコカムイ（村を守る神）、カムイチカプ（神の鳥）などと呼ばれています。



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、別紙「**申込み用紙**」または**メール**で
h_tokoro_f@maff.go.jp（常呂川FCア'レス）

○第2回森林づくり塾（主催：常呂川FC）

- 日時 2022年10月1日（土）
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付 8：30～）
- 場所 オホーツクの森他
- 内容 森林づくり（苗木掘取り）と素材生産現場見学（予定）
- 持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
- 参加費 200円（保険料等）
- 申込み 9月20日（火）まで
先着20名とします

★素材生産事業の進捗状況により内容変更となる場合があります

○秋の森林散策会

日時 2022年10月16日(日)
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9:00(受付 8:30~)

場所 オンネトー

内容 森林散策・自然観察を通じて、森林の果たす役割を学び、森林の魅力を感じましょう。

持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等

参加費 200円(保険料等)

申込み 10月4日(火)まで
先着20名とします

★散策会の下見を兼ねた「自然に学び隊」活動(10月3日予定)を行いますので希望者は事務局まで連絡願います。

詳細は、参加希望者に連絡します。

申込み 9月27日まで

○第7回森いく活動

日時 2022年10月11日(火) 9:30~

場所 森の家集合

内容 古の森遊歩道の整備、「ふれあいの森」活動他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等

申込み 10月4日(火)まで

「森いく活動」は5~10月の第2火曜日および必要に応じて実施します。

○炭づくり隊&色々食べ隊

日時 2022年10月29日(土) 9:30~

場所 オホーツクの森「森の家」

内容 飾り炭づくり、焼き物食事会

持ち物 飾り炭材料、作品持ち帰り用の入れ物、昼食、飲み物、マスク等

参加費 500円(保険料、食材費等)

持ち込み・差し入れ大歓迎、アルコール禁止

申込み 10月18日(火)まで、
定員(20名)を上回った場合は抽選とします



中止となりました

悪天候のため、「藻琴山散策会(8月27日)」は中止となりました。



木々に関するつぶやき

【ツルウメモドキ】

木々が落葉し、色合いが寂しく感じられる11月、鮮やかなオレンジが目を引く。



黄色の果実が割れて、オレンジの仮種皮が出現、タネは鳥に食べられて散布される。

ニシキギ科のツル性木本で雌雄異株、太さ5cm以上になることもあり、生け花の素材などとしても利用される。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。(退会される方は事務局へ一報願います)



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の口座(ゆうちょ銀行)に振り込む(手数料がかかります)
【振込先 店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】
森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144